

2021年6月25日

日本機械学会 金属キャスクバスケット用アルミニウム合金事例規格廃止
に関する回答文書について

日本機械学会 発電用設備規格委員会（以下「規格委員会」）では、金属キャスクバスケット用アルミニウム合金事例規格（計7件）および金属キャスク構造規格（2007年版）の添付3-3の廃止に伴い、規制庁殿からの御質問への回答として文書(下記に記載の添付資料)を提示している。

この文書内の、再発防止対策及び水平展開として記載している以下の二カ所は、規格委員会で協議のうえ、必要に応じて、文章の訂正を行いたいと考えます。理由は、下記に記載の通りです。

審議方法が回答文書と異なる場合は、改めて説明を行うものとします。

(以下、添付資料からの抜粋)

2.3 再発防止対策のまとめ

(2-2) 今後は運営規約の見直し・改定を行い、新規材料規格の策定に関し材料専門委員会による審議・可決を必須条件とする。

3. 他のJSME規格（主に技術評価済規格）への水平展開の必要性等

(5) 【再発防止対策2-2】の水平展開要否

金属キャスク構造規格で独自に物性値を設定した材料規格については、材料専門委員会に承認、若しくはそれに準じるオーソライズを依頼することとする。

<理由>

現在、金属キャスク構造規格の改定及び運営規約改定について審議を行っており、審議の進め方について多くの意見が出されている。このため、委員会におけるDue Processを尊重し、規格委員会の中で協議し、審議方法を含め再検討することとしたい。

添付資料：日本機械学会 金属キャスクバスケット用アルミニウム合金事例規格廃止に関する追加御質問への回答の提示（2016年1月28日JSME 発電用設備規格委員会）